

採用試験情報や各病院情報は ポータルページをチェック!

詳しい情報は
コチラ!

- 採用試験の実施時期は・・・?
- パンフレットをデータでいつでも確認したい!
- 各病院の情報など、すぐに分かるページは?



“兵庫県立病院薬剤師”として、働いてみませんか。

より多くの皆さんの受験をお待ちしております。

オープンファーマシー・ 病院見学のご案内 [毎年8月・2月]



兵庫県立病院では、兵庫県職員採用試験の受験をお考えの皆さまに対して、県立病院薬剤部を見学していただくため、薬剤部公開週間(Open Pharmacy)を実施しております。

複数の県立病院の見学も可能ですので、ご友人をお誘い合わせのうえ、お気軽にご応募ください。



兵庫県立病院薬剤部 ホームページ [くすりの情報室]



くすりの情報室では、県立病院薬剤師の活動など、様々な情報発信を行っております。県立病院で実習を行った薬学生の感想など、生の声も多数掲載しておりますので、ぜひご利用ください。



レジデント制度の ご案内



高度医療に対応した臨床薬学管理やチーム医療が実践でき、安全で安心な良質な医療に貢献するための基礎的スキルを備えた薬剤師を育成することを目的に、薬剤師レジデントを募集しています。皆様のご応募お待ちしております。

身分/会計年度任用職員
勤務時間/週35時間勤務(別途宿日直有)
研修内容、給与等詳しくは募集要項をご参照ください。



兵庫県立病院薬剤部 LINE公式 アカウント



兵庫県立病院の薬剤師採用情報をLINEで発信しています。その他にも、県立病院薬剤師の仕事の様子など、情報が盛りだくさんですのでぜひ友達登録をお願いします!

[アカウント名]兵庫県立病院薬剤部
[ID]@271xgjpf



Heartful Healing Hyogo

笑顔と幸せのために、
ここからの安心を。



兵庫県立病院 薬剤師募集案内

HYOGO PREFECTURAL HOSPITALS

 兵庫県病院局管理課職員班

〒650-8567兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目10番1号
TEL:078-362-3224(直通) FAX:078-362-3322 Mail: byouinkanrika@pref.hyogo.lg.jp

兵庫県

[兵庫県立病院]で働く。

薬剤師 という選択。

例を見ない急速な高齢化の進展、めざましく進歩する医学・医療。
 こうした医療を取り巻く環境にあって、医療専門職は、一生涯にわたり、
 医療の現場で経験を積み、高い知識・技術を習得するとともに、豊かな人間性を育むことが求められています。
 兵庫県立病院には、高度専門医療を提供する役割において様々な症例に触れ、最新の薬学・医学を学習し、
 高度な専門能力を身につけられるフィールドがあります。
 合わせて、薬剤師として着実にスキルアップするための生涯学習を柱に据えた教育体制を整備しています。
 また、チーム医療の一員として多職種と協調して患者さんやその家族に医療を提供することで、
 豊かな人間性を育み、高い倫理観を養うことができます。
 “兵庫県立病院薬剤師”として働く選択。それは、薬学のエキスパートとして成長するための選択であり、
 地域医療を支え、患者さん一人ひとりの笑顔と幸せのための選択。

患者さん一人ひとりの
 笑顔と幸せのために

兵庫県立病院

- 病床数3,934床
 東京都、岩手県等とともに全国有数の規模
- 職員数(約7,000人のうち薬剤師数221人)



- 広い知識を
得る

総合病院
- ① 尼崎総合医療センター
 - ② 西宮病院
 - ③ 加古川医療センター
 - ④ はりま姫路総合医療センター
 - ⑤ 丹波医療センター
 - ⑥ 淡路医療センター
- 専門分野を
究める

専門病院
- ⑦ ひょうごこころの医療センター
 - ⑧ こども病院
 - ⑨ がんセンター
 - ⑩ 粒子線医療センター



■ 兵庫県立病院薬剤師の魅力

- 総合病院と専門病院を有する全国有数規模の自治体立病院
- 一般調剤のほか病棟業務やチーム医療など薬剤師が幅広く活躍できる場
- 高度専門医療を提供するうえで経験する多様な症例を通じた高度な知識や技術の習得
- マンツーマン指導や認定・専門薬剤師育成等に向けた教育体制の充実
- 研究や職能の実践を通じて得た知見の学会発表や論文作成による薬学の発展への寄与

■ Contents

県立病院薬剤師の仕事 P03~04	各施設の紹介 P08~17
教育・研修 P05~06	Q&A P18
職員からのメッセージ P07	お知らせ	裏表紙

県立病院
薬剤師の仕事とは



- 一般調剤(内服・外用調剤、注射薬取り揃え)
- 注射薬無菌調製(抗がん剤、高カロリー輸液等)
- 抗がん剤レジメン管理
- 病棟業務(薬剤管理指導・病棟薬剤業務)
- 外来服薬指導
- 薬品管理
- 医薬品情報管理
- 薬物血中濃度モニタリング(TDM)
- リスクマネジメント
- 災害時のDMATや救護班への参加

薬剤師のある一日

Time Schedule

8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

丹波医療センターに勤務の薬剤師に一日密着しました。



足立 壮



始業
連絡事項を共有したり、前日の病棟担当からの引継ぎを受けます。



調剤
最新の調剤機器を利用して入院患者さんの処方調剤をします。



麻薬業務



昼休み



服薬指導

患者さんに薬の説明を行ったり、患者さんの疑問に答えます。



チーム医療

医師、看護師、他の医療スタッフとのカンファレンスに出席し、治療方針等話しています。また、医師や看護師からの質問に答えます。



終業

服薬指導記録などを書き終えて一日の業務が終了します。

がんセンターに勤務の薬剤師に一日密着しました。



國東 佑美



ミーティング
伝達事項、インシデント報告などを共有します。



抗がん剤調整

曝露対策のために閉鎖式器具を用いて無菌的に調製します。



昼休み

交代で休憩します。



治験薬調剤

多くの治験薬を管理しています。細心の注意を払って調剤、調製を行ないます。



病棟業務

医師、看護師と連携し、有効で安全な薬物療法を提案します。



麻薬業務

麻薬が適正に使用されているか確認します。



終業

明日の準備をして業務終了します。

教育・研修

支え合う環境で
初めてを積み重ね、成長する日々

信頼される薬剤師へ 教育・研修制度が充実しています。

兵庫県立病院薬剤部では教育研修委員会を設置し、効率的、継続的に薬剤師の資質向上を図ることで県民の複雑多様化する医療ニーズに対応し、より質の高い医療サービスの提供に寄与できる人材を育成しています。
兵庫県立病院には、総合型薬剤師から専門薬剤師まで信頼される薬剤師になるための研修制度があります。

教育研修委員会では生涯人材育成プランに基づき、全体研修、階層別研修、疾患領域ごとの専門教育研修、施設間相互利用研修など様々な研修を企画して実施しています。また、各病院で症例検討会等の研修も行っています。これらの研修から2つをピックアップして紹介します。

● 専門教育研修(感染症領域)

県立病院の感染制御領域の認定薬剤師や感染症科医師から実践的な感染症診断および薬物療法について学ぶ研修です。研修会場へ集合、またはWEBセミナー(リアルタイム配信)形式で行っています。また、専門・認定薬剤師に必要な知識や認定制度も学べます。



● 施設間相互利用研修

兵庫県立病院には、6つの総合病院と4つの専門病院があります。各病院の特色をふまえて、総合病院から専門病院、専門病院から総合病院、あるいは総合病院同士など、県立病院間で職員を短期派遣して行う研修です。勤務する病院よりも進んだ業務を行っている他の県立病院での取り組みが学べます。
(研修例)がん化学療法、病棟薬剤業務(精神疾患領域、救急・集中治療領域)、チーム医療

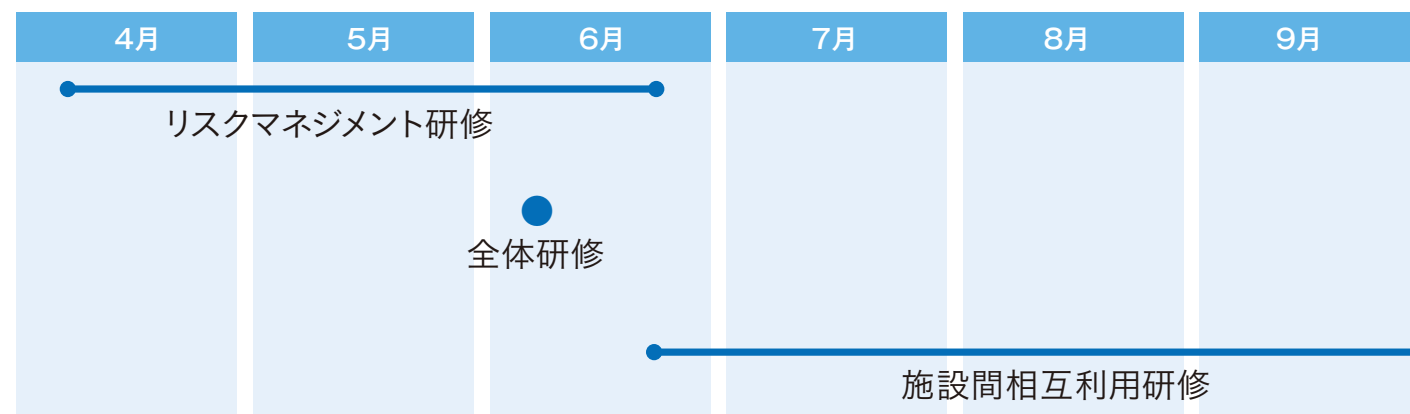


● 各病院での研修

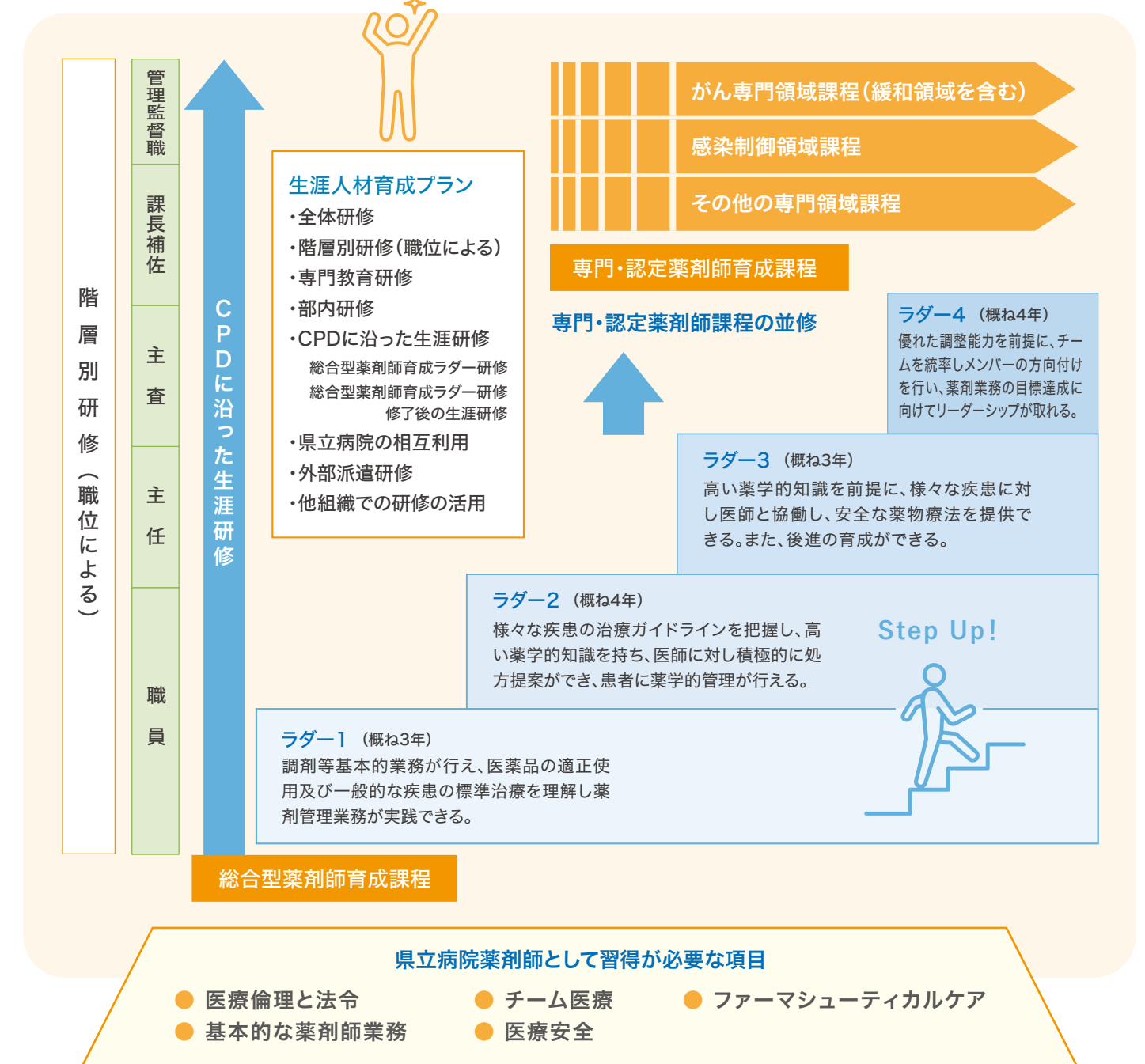
- 症例検討会
- TDMフォローアップカンファレンス
- チーム医療カンファレンス
- 疾患別病態生理・治療研修会
- 新規医薬品勉強会
- 実務研修
- 出張報告会



教育研修委員会が実施する研修



教育研修体系概念図



職員からの メッセージ

専門・認定薬剤師等の取得状況

- 指導・専門薬剤師
がん指導薬剤師、がん専門薬剤師、外来がん治療専門薬剤師、医療薬学専門薬剤師
- 認定薬剤師
がん薬物療法認定薬剤師、外来がん治療認定薬剤師、感染制御認定薬剤師、
抗菌化学療法認定薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師、周術期管理チーム認定薬剤師
救急認定薬剤師、小児薬物療法認定薬剤師、認定実務実習指導薬剤師、
日病薬病院薬学認定薬剤師、禁煙指導認定薬剤師、漢方薬・生薬認定薬剤師
- その他
NST専門療法士、日本糖尿病療養指導士、日本DMAT隊員
骨粗鬆症マネージャー、スポーツファーマシスト、心不全療養指導士等

認定資格を取得したきっかけ

新人の時に消化器内科病棟に配属され、抗がん剤治療を行っている患者さんに多く関わりました。その中で、自分が知識をつけて患者さんの治療を支えたいと思ったのがきっかけです。また今後も自分が興味のあるがん治療に継続的に携わりたいと思い資格取得を目指しました。

どんなことにやりがいを感じますか

患者さんから副作用がでていると聞いたときに、副作用を軽減するための薬や薬の用量変更を医師に提案したり、薬の使用方法や生活の指導を行うことで、副作用軽減につながり患者さんに喜んでくれたときにやりがいを感じます。また、薬剤師の視点で医師や看護師へ情報提供したり他職種と一緒に仕事をすることはモチベーションアップになります。まだまだ認知度が低い認定資格だと思えますが、今後高いチーム性を発揮する資格になると考えています。

認定資格を取得したきっかけ

元々感染領域に興味があり、学会や講演会等に参加する中で認定資格のことを知り目指すことを決めました。スキルアップを図りつつ勉強した成果を残したいという思いもありました。この時、県立病院に認定資格を取得するためのバックアップ体制があったことが後押しとなったと思います。

どんなことにやりがいを感じますか

小児患者さんの場合は、特に個々に応じた投与量の設定が必要になります。小児ゆえの難しさに苦労しながら、薬物動態を基にした投与設計を行うことで、副作用の出現なく早期に退院できた時は、やりがいを感じます。また、他職種からの複雑な相談には部内の感染チームで協力して対応していますが、力を合わせて解決できた時は嬉しく、このような経験を通して後輩職員とともに成長していきたいと考えています。

あなたが就職先として兵庫県立病院を選んだ理由を教えてください

兵庫県立病院は6つの総合病院と4つの専門病院があり、薬剤師として必要な総合的な知識を身につけられるとともに、専門性をもった薬剤師になれると感じたからです。実際に認定や専門の資格を取得されている先輩が多かった事が決め手でした。

どんなことにやりがいを感じますか

患者さんに抗がん剤の副作用対策を伝えたり、不安を傾聴し安心して頂けた際にやりがいを感じています。また医師に代替薬を提案するなど、治療に役立つ事ができた際もやりがいを感じます。5月に担当病棟が決まり、日常業務を覚える事と病棟業務に必要な勉強の両立が大変でしたが、先輩に助けを借りながら頑張りました。

マンツーマン指導員として新人を指導するうえで、注意していることはどういったことですか

1年目の時、業務の全体の流れが分からず、理解できなかつたり覚えづらいことがあったので、最初に全体の流れや各業務の役割なども指導するよう工夫しました。コミュニケーションを活発にし、困っていることはないかこまめに声掛けするようにしました。

新人薬剤師への教育体制について感じていることを教えてください

若手薬剤師がマンツーマン指導員としてつくので、比較的歳が近く、業務以外でも何か困った事があれば、相談しやすいと思います。また、1日の業務内容や分からなかったことなどを書くエルダーノートを取り取りすることで、マンツーマン指導員としてもアドバイスしやすい環境が整っているといます。



認定薬剤師(外来がん治療)
鹿島 彩絵 (尼崎総合医療センター)



認定薬剤師(抗菌化学療法)
陣田 剛志 (こども病院)



新規採用職員
唐木 麻衣 (がんセンター)



マンツーマン職員
三柳 心路 (右 がんセンター)



尼崎総合医療センター



県内公立病院としては最大規模となる
阪神地域の中核機能病院です。

診療科 **48** 科
病床数 **730** 床
※感染8床含む

私は調剤業務に加えて病棟常駐しており、チーム医療では、感染制御・抗菌薬適正使用支援チームの一員として活動しています。集中治療室に配属となり、一般病棟とは頻用される薬剤が大きく異なり、集中治療室特有の機器(人工呼吸器や血液浄化装置)を扱う病棟であるため、新たな知識が必要となります。書籍や勉強会などから知識の習得に取り組んでいます。今後も抗菌化学療法認定薬剤師として専門性を高め、知識を深めていき、患者さん・医療従事者から相談しやすい、頼りになる薬剤師となることを目標としています。



石井 恵理香



ASTカンファレンス



EICU病棟



PFM



サテライト薬局

●薬剤部の取組

全病棟に薬剤師を配置し、病棟薬剤業務を行っています。院内の職種横断的なチーム活動(がん、緩和ケア、感染、NST、心不全、周産期医療、小児医療、認知症・せん妄、排尿ケア、DMAT等)に参加しています。入退院支援において入院前から患者と面談し、持参薬を確認しています。学会・研修会等に参加し、発表を通して医療人としての必要な知識・技能の習得に努めています。専門及び認定薬剤師が中心となって、高度医療に対応できる薬剤師を育成しています。



尼崎総合医療センター
〒660-8550 尼崎市東難波町2丁目17-77
TEL.06-6480-7000
http://agmc.hyogo.jp

●診療科目

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、腫瘍内科、糖尿病・内分泌内科、心療内科、緩和ケア内科、感染症内科、漢方内科、精神科、リウマチ科、アレルギー科、外科、頭頸部外科、呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション外科、形成外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科、眼科、麻酔科、歯科口腔外科、小児科、小児循環器内科、小児外科、小児アレルギー科、救急科、小児救急科、小児神経内科、小児血液・腫瘍内科、新生児内科、小児脳神経外科、小児感染症内科、小児形成外科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科

下記の画像をQRコード対応携帯電話などで撮影すると、簡単にホームページにアクセスできます。

【QRコード】





西宮病院

日本医療機能評価機構
一般病院 認定



救命救急センター、腎移植センターを併設した総合的な診療機能を有し高度先進医療を行う地域の中核病院です

診療科 **25** 科
病床数 **400** 床

当院は腎移植を行っている施設であることから、そこに薬剤師の立場で関わることができることも特徴の一つです。チーム医療において、他職種からの薬剤師の立場としての意見を求められることで、自身の経験や知識のブラッシュアップにつながります。腎移植における服薬指導において、患者さんがより主体的に薬剤を含めた移植後のケアについて理解を深めることができるよう多職種で連携し、薬剤指導や服薬状況管理に関して退院後に地域のかかりつけ薬局へシームレスな橋渡しができるよう努めています。



横山 文香



入退院支援センター



DI室



執務室

●薬剤部の取組

私たちはきめ細やかなチーム医療活動をととして、医薬品の適正使用に努めています。調剤では安全かつ迅速に業務ができるよう様々な調剤機器を導入しています。また、保険調剤薬局との連携にも力を注いでおり、お薬手帳を活用して個別に抗がん剤のスケジュールや副作用などの情報を提供したり、トレーシングレポートを活用して患者様が安全に正しく薬物療法を継続できるよう保険調剤薬局に退院薬を情報提供するなど積極的に取り組んでいます。



調剤室



西宮病院

〒662-0918 西宮市六湛寺13-9

TEL.0798-34-5151

<http://www.nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp>

●診療科目

内科、消化器内科、血液内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、腫瘍内科、リウマチ科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、救急科、病理診断科

下記の画像をQRコード対応携帯電話などで撮影すると、簡単にホームページにアクセスできます。

【QRコード】



加古川医療センター



ドクターヘリを要する東播磨地域の
中核病院であり、地域の基幹病院として
高度専門医療を提供します。

診療科 **28** 科
病床数 **353** 床

各病棟にサテライトファーマシーを設置し、救命救急センターにも薬剤師が常駐することで円滑な病棟薬剤業務を展開しています。救急・集中治療領域について日々研鑽を積み、より良い薬物治療へ貢献できるように医師とも積極的に協議しながら病棟業務に取り組んでいます。日々の業務やチーム医療を通して、専門的な知識を獲得していき、ゆくゆくは認定や専門の資格を取得し、他の医療従事者からも信頼されるスペシャリストとして活躍する薬剤師になることが目標です。



中村 亮博



病棟カンファレンス



サテライトファーマシー



調剤室



調剤室

●薬剤部の取組

病棟業務を主体とした業務体系で、救命救急センターにも薬剤師を配置し、高度救命・集中治療部門においても薬剤師の専門性を発揮しています。PBPMに基づき、薬物血中濃度測定依頼を薬剤師が直接電子カルテで指示し、結果の解析や評価、処方提案を行います。生活習慣病、緩和ケア、NSTなどで「顔の見える薬剤師」として「チーム医療」を実践、症例検討会の実施など部内教育研修体制も充実しています。



加古川医療センター

〒675-8555 加古川市神野町神野203

TEL.079-497-7000

<http://www.kenkako.jp>

●診療科目

総合内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、糖尿病・内分泌内科、緩和ケア内科、感染症内科、外科、消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、精神科、リウマチ科、皮膚科、泌尿器科、婦人科（休診中）、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急科

下記の画像をQRコード対応携帯電話などで撮影すると、簡単にホームページにアクセスできます。

【QRコード】





はりま姫路総合医療センター

播磨姫路地域の医療を担う病院。
救命救急センター等を有し、
高度専門医療を提供します。

診療科 **35** 科
病床数 **736** 床

令和4年に姫路循環器病センターと民間総合病院が統合して誕生した、播磨姫路圏域で最大規模の総合病院です。循環器疾患医療および救命救急センター機能は維持しながら、幅広い疾患に対応する高度専門医療を提供し、地域医療の中心的な役割を担います。そんな新病院「はりま」は、より幅広い領域の知識が必要となり、これまで以上に複雑で重篤な疾患に遭遇するので、さまざまな勉強をしています。現在、AST(抗菌薬適正使用支援チーム)のメンバーとして活動しており、これまで以上に抗菌薬の適正使用に貢献できるよう、感染領域の認定薬剤師を目指しています。



沖元 秀都



感染対策カンファレンス



後輩への指導



注射室



調剤室 自動錠剤分包機

●薬剤部の取組

病棟薬剤業務・薬剤管理指導業務により、入院患者の薬物治療に貢献します。入退院支援センターで持参薬鑑別など薬歴確認、患者指導等を行います。院内チーム医療(緩和ケア、ICT、AST、NST、排尿ケア、リエゾンなど)に参加し、多職種で患者に関わり医療の質の向上に努めます。患者教室など患者・家族の疾患・薬物治療にかかる啓蒙にも取り組みます。専門・認定薬剤師の取得、学会等への参加の機会を設けると共に、部内研修会を積極的に行います。



はりま姫路総合医療センター
〒670-8560 姫路市神屋町3丁目264番地
TEL.079-289-5080
<http://hgmc.hyogo.jp>

●診療科目

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、緩和ケア内科、感染症内科、腫瘍内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、心血管外科、脳神経外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、形成外科、精神科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科

下記の画像をQRコード対応携帯電話などで撮影すると、簡単にホームページにアクセスできます。

【QRコード】



丹波医療センター

丹波地域の中核病院として
世界標準の医療を提供します

診療科 **27** 科
病床数 **320** 床

令和元年に統合移転した新しい病院で、調剤機器は注射薬払出機・錠剤払出機等の最新設備が整っており、丹波圏域の中核病院として診療科も多く様々な疾患を経験できます。認定維持や新たな認定の取得を目指すとともに、県立病院は総合病院から専門病院までであるため、さまざまな疾患を広く・深く経験でき、スキルアップできます。また、教育研修システムが充実しており、合同研修では県立病院間で他病院の薬剤師との意見交換や、県職員としての行政職を含めた他職種との研修もあり、広い視野で多くのことを経験し学びたい方にお勧めします。



馬場 奈津美



病棟業務



病棟カンファレンス



計数調剤鑑査システム



調剤室

●薬剤部の取組

当センターは地域の医療機関と連携して、急性期から回復期、終末期まで幅広い医療を提供しています。薬剤師もこれらの医療の提供に積極的に関わっています。他職種も含め若手のスタッフが多い病院で、ともに教え学ぶ医療文化の中で研鑽を積み、世界標準の医療が提供できるよう努めています。薬剤部の業務は、調剤・病棟業務・DIなど総合病院薬剤部での業務全般、また、AST・ICT・NST・PCT等の医療チームやがん化学療法で主体となって医薬品使用の適正化を図っています。調剤では、迅速かつ安全に業務ができるよう最新の機器を導入しています。



丹波医療センター
〒669-3495 丹波市氷上町石生2002-7
TEL.0795-88-5200
<http://tmc.hyogo.jp>

●診療科目

内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、緩和ケア内科、小児科、放射線科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科

下記の画像をQRコード対応携帯電話などで撮影すると、簡単にホームページにアクセスできます。

【QRコード】





淡路医療センター

日本医療機能評価機構
一般病院 認定



淡路島唯一の公立病院かつ中核病院として、救急、がん、災害医療等の高度専門医療を提供します。

診療科
28
科

病床数
441
床

淡路島では、高齢化が県下で最も進んでいます。それに伴い、使用薬剤数も増加しており、服薬アドヒアランスの向上や薬物間相互作用の確認など、薬剤業務が重要視されています。チーム医療としてNST(栄養サポートチーム)に所属しており、NST専門療法士の資格を取得しました。今後は、学会などに積極的に参加してさらなる専門資格取得に向けて取り組んでいこうと思っています。薬剤師として7年目となり、比較的若い職員が多いため、教育に関わる場面が多くなってきました。今後も自己研鑽を積み重ね、若い薬剤師の育成に関わっていきたく考えています。



田中 将太



病棟カンファレンス



図書室



注射室



調剤室

●薬剤部の取組

薬剤部では、医療の発展への貢献や高度で安全な薬物治療を提供するため、各種専門・認定薬剤師の資格取得を積極的に支援するとともに、臨床研究や学会発表に取り組んでいます。各病棟フロアのサテライト薬局に薬剤師を配置し、病棟業務やチーム医療カンファレンス、病棟ラウンドなどをとおして多職種連携を深め、処方支援や医薬品情報提供など適切な薬物療法の実施を支援しています。また、薬業連携を推進し、地域医療を充実させることを目的に淡路島内の保険薬局薬剤師と合同の研修会を定期的で開催しています。



淡路医療センター

〒656-0021 洲本市塩屋1丁目1-137
TEL.0799-22-1200
<http://www.awajimc.jp/>

●診療科目

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、血液内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、眼科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科、歯科、歯科口腔外科

下記の画像をQRコード対応携帯電話などで撮影すると、簡単にホームページにアクセスできます。

【QRコード】



ひょうごこころの医療センター



兵庫県の精神科医療の基幹病院として、精神科救急医療センターを有し、一般精神科医療、児童思春期精神科医療、認知症疾患やアルコール依存症の専門的医療を提供しています。

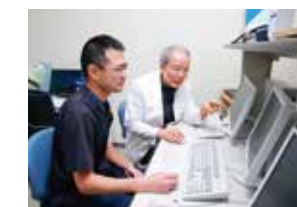
診療科
6
科

病床数
254
床

難治症例も積極的に受け入れており、治療抵抗性の統合失調症薬のクロザリル等の専門的知識や経験を深められることも魅力の一つです。抗精神病薬の二次的な副作用による誤嚥性肺炎等の感染症治療や新型コロナウイルス感染症にも積極的に介入しており、検査室や感染管理認定看護師等と連携を深め、抗菌薬適正使用に努めています。アドヒアランス不良による精神症状の増悪や再発が多いため、服薬指導によりアドヒアランスが向上し、症状改善に寄与できた時にやりがいを感じます。また精神疾患患者の増加は世界的にも問題となっており、再発・再入院を防ぐことがより重要だと考えています。



田畑 佳祐



クロザリル療法の副作用モニタリング



カンファレンス



調剤

●薬剤部の取組

調剤業務・病棟業務のほか、チーム医療として、ICT・NST・褥瘡・CCT(多職種による継続ケアチーム)で活動しています。精神疾患に用いる薬剤は種類も多く、至適濃度や副作用の確認が重要です。治療抵抗性の統合失調症薬は、定期的検査が義務付けられたシステムで管理しています。薬剤師は、医師の処方にあたり共に患者さんの状態・臨床データを確認し、安全で適正な薬物療法に寄与しています。



ひょうごこころの医療センター

〒651-1242 神戸市北区山田町上谷上字登り尾3
TEL.078-581-1013
<http://hmhc.jp/>

●診療科目

精神科、児童思春期精神科、老年精神科、脳神経外科、内科、歯科

下記の画像をQRコード対応携帯電話などで撮影すると、簡単にホームページにアクセスできます。

【QRコード】





こども病院



専門

周産期医療及び小児医療専門病院として母子、小児の総合的、高度専門的な医療を提供しています。

診療科 **26** 科
病床数 **290** 床

県内全域からの様々な疾患を持った小児患者を担当しています。調剤や処方監査に時間がかかったり、薬がうまく飲めない患児には家族を含めたアプローチが必要となるなど、小児ゆえの難しさもありますが、将来のあるこども達の役に立てた時はとても嬉しくやがいが感じます。

現在、認定資格を取得し、抗菌薬適正使用支援チームのメンバーとして活動していますが、薬剤師主導で抗菌薬の選択から用量・投与期間の設定の全てに介入することが目標です。

また、チーム医療で得られた経験や知見をもとに、学術的なエビデンスを創出していきたくと考えています。



陣田 剛志



抗菌薬適正使用支援チーム (AST) カンファレンス



小児集中治療室 (PICU)



注射調剤室



散薬調剤ロボット

●薬剤部の取組

小児専門病院の薬剤師として、きめ細やかな処方監査・調剤を行い、安全な医療に貢献しています。特に小児がんや感染領域のチームでは、中心的な役割を担っています。複数の感染及び小児領域の認定薬剤師が在籍し、がん薬物療法認定薬剤師の暫定研修施設にも認定されています。各分野での専門性を高め、病棟業務の実践を通じて「臨床現場で活躍できる薬剤師」を目指しています。



こども病院

〒650-0047 神戸市中央区港島南町1丁目6-7
TEL.078-945-7300
<http://www.hyogo-kodomo-hosp.com/>

●診療科目

小児科、精神科、泌尿器科、循環器内科、小児外科、小児歯科、腎臓内科、心臓血管外科、放射線科、血液・腫瘍内科、脳神経外科、麻酔科、脳神経内科、整形外科、リウマチ科、形成外科、アレルギー科、耳鼻咽喉科、代謝・内分泌内科、眼科、新生児内科、周産期内科、産科、救急科、リハビリテーション科、病理診断科

下記の画像をQRコード対応携帯電話などで撮影すると、簡単にホームページにアクセスできます。

【QRコード】



がんセンター

厚生労働省指定
都道府県がん診療連携拠点病院
がんゲノム医療拠点病院



専門

「都道府県がん診療連携拠点病院」、『がんゲノム医療拠点病院』として、関西有数のがん専門病院です。

診療科 **23** 科
病床数 **360** 床

近年のがんの診断・治療の進化には目を見張るものがあり、がんを専門としている当院では最新治療を提供しています。チーム医療を積極的に行い、職種間の距離が近いのが魅力です。外来がん治療認定薬剤師として、患者さんから副作用症状を聞き取り、カルテから検査値を確認し、減量や支持薬の追加を主治医と協議することで副作用軽減に繋がり、患者さんや医療スタッフに感謝される時にやがいが感じています。今後は更に専門性を磨くため、がん専門薬剤師の資格取得を目指しています。



大原 沙織



抗がん剤調製室



ASTカンファレンス



外来服薬指導室



実習生講義

●薬剤部の取組

がん治療や疾患に伴う痛みの緩和等に医療チームの一員として、外来指導・病棟業務を通して積極的にかかわり、治療に対する理解を深めるとともに不安の軽減に努めています。投与されるすべての注射用抗がん剤を、安全キャビネット内で無菌的に調製し、閉鎖式薬物混合システムを導入して曝露対策にも万全な体制で取り組んでいます。多くの治験薬を、厳格に管理・調製し、臨床試験の適正な実施に努めています。



がんセンター

〒673-8558 明石市北王子町13-70
TEL.078-929-1151
<http://www.hyogo-cc.jp/index.php>

●診療科目

消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、血液内科、腫瘍内科、消化器外科、呼吸器外科、整形外科、形成外科、乳腺外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、頭頸部外科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科、緩和ケア内科、病理診断科リハビリテーション科、精神科

下記の画像をQRコード対応携帯電話などで撮影すると、簡単にホームページにアクセスできます。

【QRコード】





粒子線医療センター



世界初、国内で唯一の「陽子線」と「重粒子線」
2つの粒子線治療を行っている
がん治療専門病院です。

診療科 **1** 科
病床数 **50** 床

当センターの魅力は、最先端の粒子線治療施設で、治療に携わることができることです。粒子線治療をよりよく行うために、医師、看護師、栄養士等と連携しながら1人1人の患者さんにしっかり向き合い、粒子線治療を安全に予定通り最後まで受けていただくことを薬の面からサポートしています。当センターに赴任し緩和ケアに携わった経験から、緩和薬物療法認定薬剤師の取得に興味を持っています。また認定薬剤師の取得にとどまらず、様々な疾患に対する薬物治療の支援ができるジェネラリストを目指し、誰からも信頼される薬剤師になりたいです。



香田 小百合



病室での服薬指導



多職種カンファレンス



情報入力



調剤室

●薬剤部の取組

粒子線治療が安全でかつ円滑に実施できるよう、薬物の面からサポートしています。病棟薬剤業務を中心に活動しており、医師、看護師、管理栄養士等とコミュニケーションを図りながら、持参薬管理や無菌調製を含めたがん化学療法管理、粒子線治療の有害事象への対応、薬剤管理指導等を行い、安全で効果的な薬物療法の実践に努めています。また、院内の医療チーム活動（ICT、PCT、皮膚ケア、口腔ケアチーム等）にも積極的に参加しています。



粒子線医療センター

〒679-5165 たつの市新宮町光都1-2-1
TEL.0791-58-0100
<http://www.hibmc.shingu.hyogo.jp>

附属神戸陽子線センター



隣接するこども病院と連携し、小児の陽子線治療実績は全国1位を誇ります。こども病院の薬剤師が兼務し、副作用が少ない治療の提供に貢献できるよう努めています。

下記の画像をQRコード対応携帯電話などで撮影すると、簡単にホームページにアクセスできます。

【QRコード】



兵庫県立病院 採用についての Q&A

- 初任給** 令和6年4月1日現在大学新卒者
238,273円(神戸市内勤務の場合・地域手当含む)
- 昇給** 通常、年1回昇給
- 諸手当** 扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当、
超過勤務手当、当直手当等
- 休暇** 完全週休2日制(土日祝)、年末年始(12/29~1/3)、
年次休暇20日(時間単位)、夏季休暇5日(時間単位)、
介護休暇、子育て支援休暇など
- 勤務時間** 午前8時45分~午後5時30分、昼休憩1時間、
7時間45分勤務(当直勤務等有り)
- 職員住宅** 【主な所在地】神戸市、姫路市、太子町、豊岡市、朝来市、
丹波市、洲本市など県内各地にあり 家賃:6,100円~



Q 兵庫県立病院の薬剤師になるには

A 兵庫県の採用試験(薬剤師)に合格する必要があります。
採用試験の詳細な情報は、県ホームページに掲載するほか、LINE公式アカウントで情報発信します。採用試験に合格された方は、県立病院薬剤師部のほか、行政(公衆衛生等の専門的業務)に携わる薬剤師として県庁や健康福祉事務所(保健所)などに配属となります。

Q 配属先の希望

A 採用試験に合格後、病院希望か行政希望かを含め、配属先の希望をお聞きする機会を設けています。
希望を尊重して配属先を決定しますが、各職場の状況によっては、第一希望以外に配属されることもあります。
なお、毎年10月に全職員を対象に勤務地や勤務内容に関する希望を申告する制度があります。

Q 筆記試験、面接試験

A 筆記試験に教養試験はありません。
面接試験は事前に出していただく自己PRカードをもとにお聞きします。

Q 新人研修制度

A 入職後おおむね5年目までの先輩職員がマン・ツーマン指導員となり、仕事の仕方や学習方法、悩みごとの相談など幅広くサポートします。また、兵庫県職員としての心構えや新任職員として必要な基礎知識等を学んでいただくための研修等も実施しています。

Q 病棟業務や当直業務

A オリエンテーションや実地研修を経て、おおむね3か月程度で業務につけるよう、マン・ツーマン指導員等でサポートしていきます。